



# 広報

# いしがき

**2014**

広報いしがき

No. 508

**4** 月号

平成26年

毎月1回発行

**人口と世帯数**

総人口	48,770 (-45)
男	24,418 (-24)
女	24,352 (-21)
世帯数	22,477 (-3)

(平成26年2月末日現在の住民基本台帳・外国人登録人口)

石垣市フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/city.ishigaki/>

- 今月の主な内容
- できごと...2P
  - 国民年金からのお知らせ...3P
  - 施政方針...4P-10P
  - おしらせ...13P
  - 保健だより...15P
  - 市民カレンダー...16P



南ぬ島石垣空港開港1周年

新空港開港1周年記念ロゴ

新石垣空港開港後、全国様々な場面で新石垣空港のPRを行い、同空港の知名度の向上と地域活性化に大きく貢献してきた南ぬ島石垣空港PRマスコットキャラクター「ばいーぐる」がその功績を石垣市に認められ石垣市第1号の特別住民として登録され、石垣市の公認マスコットキャラクターに認定されました。合わせて、石垣市公認キャラクターとなった「ばいーぐる」の銅像の除幕式が市役所で行われ、市民・観光客にお披露目され新空港開港1周年に華を添えました。(3月7日)



### TsunDAMIアイランドフェス開催!

新石垣空港開港1周年記念「TsunDAMI ISLAND FESTIVAL」が新港地区特設会場で開催され約9000人（主催者発表）の市民、観光客が来場し、音楽×アート×観光の魅力を詰め込んだ石垣市史上最大の音楽イベントに熱狂しました！グランドフィナーレには昨年新空港開港の際に作られた新空港PRソング「おかえり南ぬ島（ビギヤマ商店）」を参加者全員で踊り会場が一体感に包まれました！（3月8日）



(C)TsunDAMI! 野外フェス実行委員会



(C)TsunDAMI! 野外フェス実行委員会



(C)TsunDAMI! 野外フェス実行委員会



(C)TsunDAMI! 野外フェス実行委員会

### キングス bjリーグ公式戦に熱狂!

bjリーグ公式戦「琉球ゴールデンキングスホームゲームin八重山」高松ファイブアローズ戦(全2戦)が市総合体育館で行われ琉球ゴールデンキングスが2連勝を飾りました！2日間共に会場は満席となり観戦に訪れた市民、観光客らはプロバスケットボールの迫力に大興奮！（2月22日・23日）



### 親子でアートワークショップ

石垣島に縁のあるクリエイター達が美しい島の魅力を発信する「石垣島Creative Flag」プロジェクトの一環として飛行機を描くアートワークショップが開かれ、親子連れ約100人が参加しました。ワークショップでは、クリエイターのpokke104（池城由紀乃）さんの描いた飛行機の下絵に、参加者が色鮮やかな絵の具でシーサーや石垣島の生き物などをテーマに色鮮やかな絵を描きました。（3月1日）

# 国民年金からのお知らせ



**年金記録交付サービスが市役所及び郵便局で受けられます。**

日本年金機構では年金記録問題の再発防止に向け、年金記録がいつでも確認できる「ねんきんネット」の普及に努めています。インターネットのご利用ができない方には、市役所及び郵便局にて年金の記録交付サービスを実施しています。お気軽にご利用ください。

[交付機関]\_\_石垣市役所市民課・八重山郵便局 [交付手数料]\_\_無料  
 [持参書類]\_\_基礎年金番号が記載されている年金手帳、または「ねんきん定期便」。

また、交付の際は本人確認のため下記の書類が必要となります。

○写真付き書類（1種類で可）…運転免許証、住民基本台帳カード（写真付）、パスポート、外国人登録証明書等（在留カード）

○写真なし書類（2種類必要）…健康保険証、印鑑登録証明書、住民票の記載事項証明書、離島住民カード、診察券、会員証、通帳等

お問合せ：市役所市民課国民年金担当（直通）：☎0980-87-9005

石垣年金事務所（天川御嶽隣り）：☎0980-82-9213



**ご存知ですか？「後納制度」  
国民年金保険料が過去10年分まで納付可能！**

・未払いの国民年金保険料納付期間が、過去2年分から10年分に延長（平成24年10月より）されました。後納制度により過去10年分までさかのぼっての納付が可能です。

期限：平成27年9月30日。お申し込みはお早めに。

## 後納制度のメリット

○将来受け取る年金額が増額！ ○年金の受給資格が得られる可能性があります！

※審査にお時間がかかることがありますので、期限に余裕をもってお申し込み下さい。

※過去3年度以前の保険料には、加算額がつきます。



**納めて安心！  
国民年金**

お問い合わせ

『国民年金保険料専用ダイヤル』：☎0570-011-050  
 （050、070のお電話からは03-6731-2015）

基礎年金番号が分かるものをご用意ください。

石垣年金事務所（相談予約可）：☎0980-82-9213

## 特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当

障がい福祉課 0980-82-9947

**■平成26年4月より手当額（月額）が改定になります。**

	平成26年3月まで	平成26年4月から
特別障害者手当	月額 26,080円	月額 26,000円
障害児福祉手当	月額 14,180円	月額 14,140円
経過的福祉手当	月額 14,180円	月額 14,140円

※年4回の支給で、受給者本人の口座へ振り込まれます。

【支給月】

5月（2月～4月分）  
 8月（5月～7月分）  
 11月（8月～10月分）  
 2月（11月～1月分）

### ◆特別障害者手当とは

在宅の障害者に対し、著しく重度の障害によって生じる特別な負担の軽減を図る一助として手当を支給し、重度障害者の福祉の増進を図るための制度です。

年齢が20歳以上で、在宅で生活しており、重度の障害により日常生活において常時特別な介護を必要とする方が該当します。

### ◆障害児福祉手当とは

在宅の重度障害児に対し、その重度の障害によって生じる特別な負担の軽減を図る一助として手当を支給し、重度障害児の福祉の増進を図るための制度です。

年齢が20歳未満で、在宅で生活しており、重度の障害により日常生活において常時特別な介護を必要とする方が該当します。

### ◆経過的福祉手当とは

在宅の障害者に対し、旧法に定める程度の障害の状態にあるため、日常生活において常時の介護を必要とする者の対し支給し、重度障害の福祉の増進を図るための制度です。

以前の旧制度で福祉手当が受けられる方が該当します。（新規は該当しません。）

# 平成26年度 施政方針



## はじめに

私は、4年前「日本一幸せあふれるまち「石垣市」」をスローガンに掲げ、石垣市長に初当選させていただきました。「日本一幸せに子育てできるまち」、「日本一平和で安心安全なまち」、「日本一快適で活力あるまち」の三つの柱を中心に市民の皆様とお約束したマニフェストの実現に職員とともに全力で取り組んでまいりました。

子育て関連においては、乳幼児医療費自動償還払いの手続き簡素化をはじめ、待機児童解消と幼児教育の充実を図るための全市立幼稚園での預かり保育の実施、学力向上に向け小中学校の全ての普通教室へ書画カメラや電子黒板の設置を実現しました。スポーツや文化面などで活躍する子供たちの派遣費の補助も拡充しました。また、子供たちへ安心安全な給食を提供するための新しい給食センターも完成し、新学期から運用開始いたします。これからの本市を担う子供たちの健やかな成長を心から願っております。

平和で安心安全なまちについては、老朽化した消防庁舎を早期に仮移転し、市民の生命・財産の安心安全を担保いたしました。さらに防災情報一斉メール配信

システムや防災無線の拡充などのインフラ整備とともに、制度面では国民保護計画の策定や地域防災計画の13年ぶりの改定、災害時要援護者避難支援計画の策定などを行いました。また各公民館単位での自主防災組織の立ち上げも順調に拡大していることから、今後はこれらの計画と地道な防災訓練等を通じ、災害時に一人の犠牲者も出さないという思いで市民防災意識を高めていきたいと考えています。長年の懸案事項でもありました県立八重山病院については、県知事との連携のもと、空港跡地にて平成29年度末までの供用開始が決定いたしました。最新鋭の医療拠点施設の完成は郡民の命を守ると同時に、観光客にとっても安心して旅行に訪れることができる必要十分な条件となります。平成23年12月議会で議決された「石垣市核廃絶平和都市宣言」はすべての暴力の頂点に立つ核兵器の廃絶を全世界へ強く訴えていくことを目的に制定されました。国際交流拠点都市としての石垣島が全世界から観光客を受け入れ、そこで国籍、人種、宗教も異なる人々が集い、交流する中から相互理解と友情が芽生え、信頼関係を築くことで必ずや世界平和に貢献できる平和発信の島になるものと確信しております。

快適で活力あるまちについては、市民・郡民が長年待ち望んでいた南（ばい）ぬ島石垣空港開港という大きなインパクトがあり、年間の入域観光客数が93万7千人を超えるまでになりました。新空港開港まで携わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。この好調さを引き続き維持し、観光産業のみならず様々な業種へ経済効果が波及することで、本市のより大きな成長が見込めるものと期待しています。そのための各種インフラ整備にも力を注いでまいりました。成長著しい畜産業をさらに伸ばすため、新食肉センターを建設し、4月からの供用開始となります。国内外へ向け

た販路の拡大が期待されます。また県事業の空港アクセス道路、新空港の国際線ターミナル増改築工事、国営土地改良事業の新規採択、新港地区整備に向けた港湾計画改訂など県や国との連携が必要な事業計画も着実に推し進めることができました。本年度はこれらの事業実施により大きな経済効果と確実な景気回復への道筋をつけてまいります。

さて、去る3月2日に行われました市長選挙におきまして、私は市民の皆様から2期目の負託をいただきました。1期4年間の実績を評価いただき、またこれからの4年間にご期待をいただいたものと感謝申し上げます。

2期目は、政策の柱として「いきいき輝くふるさとづくり」、「農業、漁業、畜産業など生産性あふれるまちづくり」、「情報化社会、国際化社会に即応できるまちづくり」を追加いたしました。その思いは、新空港開港を機に国際観光都市へと歩みだした本市を、確実に成長させると同時に、市民誰もがこの島で住み続ける限り、夢や希望を描き続けることのできるまちを実現することにあります。観光というツールを使い、石垣島の自然や景観、芸能や祭事などの伝統文化、独自の食文化、ここから迎え入れる人情味のある人々など、先人から受け継いできた多くの財産を守り育てることと、さらに石垣島の魅力を高め、島のなかにありとあらゆる可能性を生み出していく、これが私の2期目の大きな目標であります。

その初年度にあたります本年度は、奇しくも大正3年4月1日に八重山村から分村され石垣村となつてちょうど100年の節目の年となります。またその後、変遷を経て石垣市となり、大浜町との合併から50年という歴史的な年とも重なります。私たちはこれまでの苦難を乗り越えてこられた先人たちのご労苦に感謝し、また、当時の人々が自分の子孫の将来、島の未来に思い描いていた夢や希望を叶えながら、私たちも同じように子孫の将来、島のさらなる未来へ、想いのバトンをつないでいかなければなりません。

島の将来設計は市長ひとりでは出来るものではありません。

また50年後を見据えた基礎作りも多くの皆様の力が  
必要です。職員一丸となり、また議員各位のご協力も  
賜りながら、さらには石垣市民48,500人が力を  
合わせ、私たち石垣市と市民の大きな夢と希望に向  
かって進む一年にしたいと強く決意する次第であり  
ます。

## 島の自然環境を守り活かす「いしがき」

### 1. 環境と風景

本市は、日本最南端の自然文化都市であり、野生動  
植物などの固有種が豊富な「太陽と海の楽園」です。昨  
年度は、本市の自然環境の保全を目的に、自然環境保  
全基本方針の策定に努めてまいりました。本年度は、  
それに沿って、希少野生動物植物保護のため、保全する  
種類と地域の指定について検討してまいります。

昨年度策定したエコアイランド構想につきましましては、  
その推進に向け、庁内体制の構築を図り、波力などの  
海洋再生可能エネルギーをはじめ、太陽光や風力など  
によるエコ化の取り組みを進めてまいります。その一  
環として、雨水流出の抑制、雨水の有効利用を目的に  
雨水貯留タンクなどに対する助成制度の導入を図っ  
てまいります。

廃棄物処理につきましては、本年度から缶詰缶類の資  
源化をスタートします。今後とも廃棄物処理施設の延  
命化を努めるほか、蛍光管の処理等の実施に向けて取  
り組んでまいります。

火葬場につきましては、昨年度は位置選定に関する委  
員会を設置し、市民とともに新たに現火葬場を含む  
「南側隣接地」を候補地として決定し、都市計画決定の  
手続きを進めているところです。本年度は用地補償業  
務、建築・火葬炉の実施設計、用地造成工事等に着手  
し、来年度には本体工事を実施し、平成28年度の供  
用開始に向け鋭意取り組んでまいります。

## 快適で生活しやすいまち「いしがき」

### 2. 快適・安心

昨年度は、八重山郡民待望の新空港が開港し、空の  
新たな玄関口となりました。海の玄関口である石垣港  
においては、港湾計画の改訂を行いました。これはま  
さしくアジアゲートウェイであり、アジアをマーケッ  
トとして視野に入れた行動の年でした。そして、まち  
づくりの土台となる土地利用の上位計画である国土  
利用計画を昨年12月議会において議決をいただき10  
年振りに改定を行いました。今後は、これら計画と整  
合を図りながら土地利用、まちづくりを推進してまい  
ります。

そのまちづくりにとつて、重要な要素となるのが市  
役所本庁舎であります。本庁舎は築40年余りが経過  
し、老朽化等の課題を抱えています。この課題解消の  
ため、建て替えに向けた検討を進めています。昨年度  
は市民をはじめ有識者、関係者等の意見を丁寧に積み  
上げ、新庁舎の在り方、教育委員会本庁舎との統合な  
どをまとめた基本構想を策定しました。本年度はさら  
に具体的な検討を進めるため、建設位置、事業手法等  
を含む基本計画の策定を、市民意見等を拝聴しながら  
進め、災害に強い市役所を目指してまいります。

空港跡地につきましては、市街地に隣接する約50ヘ  
クタールの広大な面積を有しており、地元のみならず  
多くの島外企業が進出に向けて大きな関心を示して  
います。このことから本市経済に大きなインパクトを  
与える潜在的な可能性を秘めています。空港跡地を有効  
活用するためには、適正かつ効率的な土地利用を図る  
必要があります。土地所有者は大部分が国、県となっ  
ていることから、両者と連携を図り、同時に民有地の  
地権者の理解も得ながら、土地区画整理事業の導入を  
検討してまいります。

また、空港跡地南側に位置する南（はい）大浜  
（ほーま）地区においては、大雨時の道路冠水対策や

良好な土地利用に誘導することが喫緊の課題となっ  
ています。このことから空港跡地を含めた道路網や排  
水計画を策定し、市民・観光客が交流する地域にふさ  
わしい都市基盤整備を図ってまいります。

本市においては本土復帰以降から今日まで、多くの  
都市基盤整備が行われてきました。建設コストの高い  
橋梁の維持管理につきましては、ライフサイクルコス  
トを考慮した長期的な維持管理のマネジメントシス  
テムの構築が重要課題となっております。そのため、  
平成22年度に現地調査を行い、橋梁長寿命化修繕  
計画の策定をしました。本年度はそれに基づき、観音  
堂線の「荒（あら）引（びけー）橋（ばし）」の補修  
実施設計と補修工事、川平9号線の函渠の補修実施設  
計を行い、通勤通学路、観光アクセス道路としての安  
全確保に努めてまいります。

八重山圏域の生活・経済を支える物流拠点として  
長きにわたり本市まちづくりを支えてきた重要なイ  
ンフラである石垣港につきましましては、新空港と並び海  
の玄関口として、アジアゲートウェイの役割をさらに  
強く担うため、昨年度に改訂を行った「石垣港港湾計  
画」をもとに、本市発展に貢献する港湾整備を図って  
まいります。本年度は離島フェリーバースの整備、緑  
地等の整備を引き続き進め、市民待望の人工ビーチに  
おいては一部使用を開始いたします。また、近年、寄港  
の増加している大型クルーズ船については、現在の岸  
壁は7万トン級船舶が上限ですが、着岸させる  
ためには気象などの条件が整わないといけません。そ  
のため、新港地区において、条件に左右されない岸壁  
整備を引き続き進め、将来的には14万トン級船舶が着  
岸可能な岸壁整備と併せて、2隻同時に着岸できる本  
格的な国際交流拠点港湾を目指してまいります。

市民憩いの場である都市公園につきましましては、一昨  
年より整備しております川平風致公園駐車場整備を  
進め、観光利便性の向上に努めてまいります。また、公  
園施設長寿命化対策支援事業の新設に伴い、既に供用  
開始している都市公園施設の長寿命化対策を進めて  
まいります。同時に、長期未着手となっている街区公  
園につきましても、地域の意向に沿った環境整備に取

り組んでまいります。

水道事業につきましては、耐震化推進を目的に浜崎町地区の配水管と石垣浄水場及び古原浄水場の電気機械設備の更新を行ってまいります。無効水量の低減については、給水地域のブロック化を検討し、漏水箇所での早期把握と分析を行います。また、災害時などの非日常に備え、給水パットの購入・備蓄の必要性を国・県に要望してまいります。水道料金につきましては、市民の利便性向上のため、コンビニエンスストアでの収納サービスを開始します。同時に、「民間にできることは、民間に。」という考えに基づき、水道メーターの取り替え及び検針業務などを民間に委託し、事務の効率化とコスト圧縮を図り健全な水道事業を営営してまいります。

公共下水道事業につきましては、昨年度は石垣、宇大川、宇登野城の汚水管渠整備を行いました。本年度も引き続き同地域の整備を推進します。農業集落排水事業につきましては、昨年度、大浜、磯辺地区汚水処理場を供用開始しました。この公共下水道並びに農業集落排水のより一層の接続率向上を目指し、排水設備改築工事費用の一部助成を新規創設し、支援を拡充します。雨水対策については、公設市場付近の浸水防除を目的とした雨水幹線函渠の整備を推進してまいります。これらのことにより、公共用水域の水質汚濁防止と浄化を促進し、いつまでも綺麗な海や川を守ってまいります。

新空港が開港し、多くの観光客が本市を訪れております。それに伴い交通量が増加しております。特に新空港が位置する東部地区は交通安全対策が喫緊の課題となっております。昨年度は、関係機関・団体及び地域と緊密な連携のもと「南（ばい）ぬ島石垣空港開港に伴う石垣市交通安全対策連絡協議会」を設立しました。本年度も連携を図ると同時に、飲酒運転の根絶など交通事故防止対策に取り組んでまいります。また、安心なまちづくりのためには犯罪を未然に防ぐ環境整備が必要です。昨年度から防犯活動を目的に、公用車に防犯ステッカーを貼り付けています。これを増やし、防犯意識を高め、地域の安心安全を推進してま

います。そして、本市管理の1,532灯の防犯灯につきましても、エコアイルランド構想の実行に基づき、省電力化、CO2排出量削減、灯具の長寿命化による管理コスト削減などの効果のためLED化を引き続き行なってまいります。本年度は、737基を整備し、全ての防犯灯のLED化が達成されます。管理につきましても、昨年度に設置した「石垣市防犯灯あり方検討委員会」等で協議した内容をもとに、地域管理型に向けて取り組んでまいります。

近年、局地的な豪雨や大型台風の接近など自然現象による被害が日本各地で発生しています。自然現象を止めることは困難ですが、減災の観点から被害の軽減を図る措置を講じておくことが肝要であり、情報伝達による迅速かつ適切な初動体制が重要であります。そのため防災行政無線の整備に引き続き取り組んでまいります。また、地域防災力向上のため、一昨年度から自主防災組織の結成を促進し、救急救助資機材等を貸与してまいりました。その結果、26地区に自主防災組織が結成されました。本年度も引き続き地域の防災力強化に努めます。明石地区においては昨年度に防災避難道路を整備しました。本年度は白保地区において、避難箇所アクセスする避難道を整備します。福祉分野における災害対策としては、要援護者等を対象とした「福祉避難所兼ふれあい交流施設」の整備を進めています。支援が必要な要援護者に配慮した「福祉避難所」を整備するため、関係者の意見に耳を傾けながら事業に取り組んでまいります。同時に、防災講演会による災害に強い人づくり、津波一時避難ビルの拡充や、防災備蓄倉庫の整備を合わせて行うことにより、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

不発弾処理につきましては、関係機関と連携をとり、磁気探査事業の実施を推進してまいります。本市の安心安全なまちづくりに欠かせないものの一つとして消防・救急があります。現在の消防庁舎は老朽化に伴い移転した仮庁舎にて業務を遂行しておりますが、本年度中の空港跡地における用地の確保と移転を目指してまいります。救急業務につきましては、年間2千件を超える出動件数があります。このこ

ら昨年度に「市民救急ステーション」を新たに設置しました。事業所等のご協力をいただき、AEDの設置と普及を進めています。そして、市民誰もがAEDにより命を救う手助けができるよう、救急法講習会を数多く開催してきました。本年度も継続して、より質の高い病院前救護であるプレホスピタルケアを目指し、市民の生命を守ってまいります。

## 市民の一人ひとりが輝く「いしがき」

### 3. 生きがい

少子高齢化は、全国同様、本市においても重要な課題であります。沖縄県は人口増加傾向にあるものの、近い将来は減少に向かうことから、その危機感に対し「沖縄県人口増加計画」の策定など、対策に取り組んでいます。本市においても、人口は増加傾向にあるものの、将来、減少するという現実を今のうちから認識しておくことが重要であり、着実な保健福祉行政を行っていく必要があります。

母子保健事業につきましては、乳幼児健診において支援が必要となる子どもたちに対し、就労支援まで途切れることなく生涯にわたり一貫した支援を行う発達支援システムの構築を図ります。

地域福祉につきましては、「地域福祉計画」に基づき、「要援護者登録制度」に登録された要援護者情報を地域等の支援者に提供することで、「自助・共助・公助」を促進しています。昨年度は、個人情報取り扱いに関する協定を交わし、16公民館に要援護者情報の提供を行いました。本年度はさらに拡充・推進し、地域内で共に支えあう体制づくりに努めてまいります。

家庭や地域での子育てにつきましては、「生りどう宝、ふあーまー元気、結いで子育て」を基本理念として取り組んできた現行の「石垣市子育て支援行動計画」に続く新たな「子ども・子育て支援新制度」が来年度からスタートします。この新制度においては、幼児教育・保育・子育て支援を総合的に推進することから、

本年度は、保護者や関係団体等と連携を図りながら、本市の子育ての状況や多様な保育ニーズに応じた向こう5ヶ年の「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、安心して子育てができる支援の充実を図ってまいります。保育所入所待機児童につきましては、認可外保育施設の認可化移行促進に伴う創設及び既存認可保育施設の増改築による定員増を図るなどにより、本年度から来年度にかけて「待機児童ゼロ」の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

障がい者福祉につきましては、障害者総合支援法に基づく「第4次障がい者福祉計画」並びに「第4期障害福祉計画」を策定します。このことにより、障がい福祉サービス、地域生活支援事業の提供体制について検討を進めてまいります。また、自立した日常生活を営むことができるよう、障がい福祉サービスと地域生活支援事業、就労の支援等を引き続き積極的に実施してまいります。さらに、障がいによる各種ニーズへの対応に向けて、相談支援の充実を図るため基幹相談支援センターを設置します。同時に、障がい者団体の育成支援を継続実施するほか、「障がい者週間・市民のつどい」、「八重山地区障がい者スポーツ大会」、「八重山地区障がい者美術展」を引き続き開催し、障がい者への理解とノーマライゼーションの理念実現に向けて地域支援の輪を広げてまいります。

市民の健康増進につきましては、昨年度からスタートしました「第2次健康いしがき21」の計画に沿って積極的に推進するとともに、食生活改善の普及に取り組んでまいります。また、本年度は新たに男性のがん予防対策として前立腺がん検診の費用の一部を助成してまいります。

特定健診・特定保健指導につきましては、昨年度は受診率が県内11市中トップでした。本年度もこれを堅持し、保健指導実施率の強化を図り、第2期実施計画の推進に邁進してまいります。

高齢者支援における介護保険事業につきましては、課題を明確にし、計画的に事業を推進することを目的に「第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。この計画において、地域包括支援センター

へつなぐための総合窓口であるブランチを北・西部地区に位置付け、地域における医療・介護・福祉の連携強化を図ってまいります。また、北部地区での小規模多機能型居宅介護事業所の整備を進めてまいります。

低所得者支援につきましては、全国的に生活保護受給者数が年々増加しており、本市においても同様の傾向にあることから、昨年度は適正な保護実施に資するため、認定等事務適正化調査員を活用した事前調査及び照合を重点的に行ってきました。本年度はケースワーク業務の強化に努めてまいります。

自殺予防については、自殺対策緊急強化事業を継続実施し、予防の普及・啓発に努めてまいります。本市における昨年の観光入域客数は、対前年比107.9%の70万8,527人であり、関係各機関のご

尽力の結果、回復の兆しが見え始めております。特に、台湾をはじめとする海外からの観光客については、増加傾向にあり、外航クルーズ客船及び航空2社のチャーター便の就航により、6万3千人の観光客が本市を訪れています。しかしながら、全観光入域客数は以前の勢いを取り戻すまでには至っておりません。それを取り戻すべく、本年度は「観光文化スポーツ局」の新設により観光部門の組織強化を図り、「石垣市観光基本計画」の施策推進を行います。

具体的には、国内誘客については、観光プロモーション事業を各大都市圏において展開してまいります。同時に、観光物産展を開催し、観光客の誘客に努めます。また、新石垣空港での観光案内所への人員配置や、玉取崎展望台等の施設の改修などを行い、観光客のリピーター増加を図ります。新空港開港PRについては、あらゆる広告媒体を活用し積極的に推進します。外国人観光客の受入体制については、その施策の一つとして、昨年度、多言語観光案内板を設置しました。本年度は、無料の広域Wi-Fiスポットを中心市街地に整備し、これをセールスポイントの一つとして、引き続きクルーズ客船の受入・誘致を積極的に推進してまいります。また、国際定期便事業等を活用し、沖

縄コンベンションビューローとの連携を図り、東アジア圏域をターゲットとしたインバウンド戦略の強化に取り組んでまいります。

## 地域の魅力あふれる「いしがき」

### 4. 活力

昨年、新空港が開港し、本土直行便の増加、中型機の就航、20の参入、国際線の定期便化を背景に、入域観光客数は過去最高となる対前年比32%アップの93万7千人と大幅に増加しました。本市の観光理念である「高ぬ美(かい)しゃ、心(きむ)美(かい)しゃ」のまちづくりを目指し、観光産業を本市のリーディング産業として今後とも一層永続的に発展させてまいります。そのために、観光交流協会、沖縄観光コンベンションビューローなどと連携し、首都圏等での観光プロモーション事業を展開してまいります。併せて本市の観光及び物産等のイメージを多様な媒体で広報・広告するブランディングを推進した誘客活動を展開してまいります。石垣島フィルムオフィスにおいては、本市の魅力ある行事や風景を集約させる「投稿型写真ウェブライブラリー」の運用により、映画やドラマ等のロケ誘致にもつなげてまいります。また、新空港国際線施設を活用し、台湾、韓国、香港等の東アジア圏域をターゲットとしたインバウンド戦略に取り組み、積極的にプロモーションをかけ、国際線の定期便化をさらに推進してまいります。海路においても、4月には7万トン級のクルーズ船が石垣港に初寄港します。ポートセーラースによるクルーズ船の定期的な寄港と併せてクルーズ船の「おもてなし誘致」を積極的にまいります。そのためには観光受け入れ基盤の向上が重要です。昨年度は、外国人を含む観光客向けに無料の公衆Wi-Fiを新空港、離島ターミナル、市街地、観光地である川平公園に整備しました。本年度は、観光地域づくりの大きな課題である「地元消費額向上」、「ポトム期解消」、「受入満足度向上」を3本柱とした施

策に取り組み、観光の質を高めることで観光需要の安定化とリピーターの創出につなげます。そのために、観光地再整備計画に基づく米原キャンプ場等の整備や、企業の会議・研修旅行、国際会議、展示会などビジネスイベントの総称であるMICEによる多種多様な誘客を目指し、石垣ならではのMICEを推進します。同時に、昨年度は水族館建設に向けた基本構想を策定しましたので、本年度はさらに検討を進め、建設候補地の絞り込みや具体的な展示方法などを盛り込んだ基本計画を策定し、全ての人に海を身近に感じてもらえるような、そして、水産業振興にも貢献できるような付加価値のある水族館を目指してまいります。

スポーツツーリズムの推進につきましては、一昨年度から「スポーツ！ウエルカム！石垣島！」事業を展開してまいりました。昨年度は県外から高校・大学、社会人等の陸上、アーチェリー、パラリンピック陸上日本代表など幅広い競技団体が本市にキャンプで訪れました。また、千葉ロッテマリンスズの石垣島キャンプは7回目を数え、1、2軍合同に加え、石垣島初のプロ野球オープン戦が全国のトップを切って開催されました。そして、昨年度からの各種大会の誘致活動が実を結び、本年度はシニア層を対象とした「全国ウィンテージ8、s（エイト）バレーボール交流大会」と極東及びオセアニア地区の航空会社対抗の「FESP A（フエスパ）エアラインバスケットボール大会」の誘致に成功し、本年11月に本市で初めて開催されることから、石垣島を全国に、そして世界に広くPRできるチャンスと捉え、大会の成功を目指します。そして、このチャンスを活かし、サッカーパークあかんまの活用を促進したサッカー、ラグビー等のキャンプやグラウンドゴルフなど各種大会の誘致並びに開催につなげてまいります。また、相乗効果として、観光などの消費効果が地域の活性化に波及されるよう努めてまいります。

本市の観光振興を進めていく上で必要不可欠であり、多くの市民・団体が一日も早い建設を望んでいるゴルフ場につきましては、整備箇所を定め、関係機関と連携し、積極的な整備促進に向け取り組んでまいります。

石垣ブランドにつきましては、昨年度は本市特産品に世界中のデザイナーが魅力を見出し、リ・デザインするU（ウ）S（シ）O（オ）プロジェクトや富山市での石垣島物産展、民間による台湾でのPRへの支援など、国内外で本市特産品のプロモーションを行いました。本年度も引き続き石垣牛、八重山かまぼこ、石垣の塩など地域団体商標商品のより一層の普及と、農林水産物や加工品の掘り起しに取り組みでまいります。また、八重山ミンサーなどの織物、やきもの、島産木材を使った挽き物など地域資源を活用した良品についても、人材育成や産地に対する支援を引き続き行うことにより、地域ブランド化戦略を展開してまいります。農業分野における石垣ブランドの一環としては、本市の伝統的食材であるハーブに着目し、本年度はハーブフェスティバルを開催します。島野菜の振興と併せて六次産業化を進め、石垣ブランドを発信してまいります。

商業と中心市街地活性化につきましては、昨年度は新空港開港後の中心市街地を戦略的に実施するためのコンセプトとビジョンを策定し、庁内におけるマネジメント体制の構築に取り組んでまいりました。本年度は、これらをもとに商工会をはじめとする中心市街地まちづくりの実施主体とともにさらなる検討を進め、中心市街地の総合的プロデュースに取り組む、アクションプランとして取りまとめまいります。

これら観光・商業など本市の活力を支えているのは、農林水産業などの第一次産業であることは言うまでもありません。農業振興につきましては、さとうきび、パインアップルを中心とする基幹作物の規模拡大及び園芸作物を中心とする戦略作物の生産振興及び販売促進プロモーションを実施し、農業所得の向上に貢献してまいります。

畜産業につきましては、昨年度は家畜の改良及び伝染病対策を着実に実施すると同時に、処理能力が大きく向上し、高度な衛生環境を有した新たな食肉センターの建設が完了しました。そして、素牛や枝肉の価格は近年にない高価格で取引されるなど、今後の畜産振興につながる施策を展開してまいりました。本年度は、石垣市酪農・肉用牛生産近代化計画に基づき、種

畜の改良を推進し、地域内母牛群の更新及び家畜伝染病や疾病の予防対策を図ってまいります。また、本年度から稼働する新食肉センターを最大限活用し、石垣牛をはじめ、石垣産和牛が一体となったブランド力を強化し、国内はもとより海外マーケットも視野に入れた流通体系及び安定供給体制の確立を構築してまいります。養豚業につきましては、優良種豚の導入を推進し、引き続き養豚農家の生産性向上を図ってまいります。

水産業につきましては、魚価の低迷、燃料費の高騰、水産資源の枯渇化などの課題から、資源管理型漁業への取り組みが必要となっており、昨年度は、高級魚として有望種であるアカジンの陸上養殖への取り組みや、集落協定に基づく漁業再生支援事業や流通条件不利性解消事業を導入し漁業者の負担軽減を図ってまいりました。本年度も沿岸漁場整備拡大を図るほか、引き続き魚介類の養殖に向け実証試験を行い、「魚介類等陸上養殖施設」を推進してまいります。さらには、漁場保全事業や種苗の輸送費補助等を継続するとともに、水産加工場の整備や水産物の販路拡大など水産振興に努めてまいります。また、日台漁業取り決めにおいては、漁場の不利益を被っている現状から、実態に見合う補償や支援策について、今後も継続して国に要請してまいります。

農業基盤整備につきましては、昨年度は国営石垣島土地改良事業の採択に向け、関係機関と連携して地区別の説明会を実施してまいりました。この事業は、石垣島の農業生産性の向上と農業経営の安定に資する事業であり、本市が実施する関連事業などを含めると総額約760億円の大規模公共事業です。本年度はいよいよ事業がスタートします。関係機関と連携し、国営事業及び関連事業の推進とともに営農推進に努めてまいります。

これら第一次産業の振興により生産された農水畜産物につきましては、地産・地消と食育の観点から、昨年度完成した新しい給食センターにおいても積極的に利用を推進し、子どもたちにバラエティーに富んだおいしい給食を提供してまいります。

林業振興につきましては、治山治水の観点から造林



を推進し、島産材を使用した木工品や木炭などの地  
利用が推進できるよう、森林組合と連携し、山林資源  
の増大を計画的・安定的に進めてまいります。

製造業につきましては、特産品振興のため、割高な輸  
出入コストによる経営的負担への対策を講じ、商品開  
発力の向上と経営資源の充実を図ってまいります。ま  
た、新空港開港後の新たな流通戦略構築に関する実証  
事業と石垣市中小企業振興基本条例の制定を行って  
まいります。

雇用対策につきましては、失業率は改善傾向にあるも  
の、全国と比べると高く、依然厳しいものがあるこ  
とから、民間企業の活力を用い、雇用の拡大や処遇の  
改善に取り組んでまいります。同時に、石垣市「事業  
支援センター」に企業を誘致し、雇用促進に繋げてま  
いらす。また、グッジョブ運動を小中学校で実施し、将  
来の雇用に繋がるよう取り組んでまいります。

## 豊かな風土の中で育つ「いしがき」

### 5. はぐくむ

本市が継続的に発展し続けるには、未来の担い手で  
ある子どもたちのために良好な教育環境を整えるこ  
とが重要であります。昨年度は、市立小中学校では初  
めてとなる、災害に備えた太陽光パネルを伊原間中  
学校に設置しました。本年度も引き続き設置を推進して  
まいります。また、学力向上と人材育成を目的に児童  
生徒を東京大学等へ派遣しました。これは本年度も継  
続してまいります。さらには、全市立小学校の無線L  
AN化と市立小中学校の全普通教室へのICT整備、  
沿岸部の学校を対象にした全児童生徒・園児・職員  
への防災用ライフジャケットの配布を実施しました。  
本年度は、学校給食無料化については引き続き第3子  
以降の無料化を実施し、第1子、第2子への無料化は、  
財政状況を考慮しながら取り組んでまいります。学校  
施設整備については昨年度に引き続き明石小学校屋  
内運動場改築工事を進めてまいります。登野城小学校

建て替え計画については昨年度策定した基本計  
に基づき実施設計に着手するとともに、やえやま幼稚  
園、おおかわ幼稚園移転に向けた計画を推進してま  
いらす。石垣小学校建て替え計画についてはみやとり  
幼稚園、みやま幼稚園の移転構想と合わせて、本年  
度から基本計画の策定に取り組んでまいります。

冠鷲プロジェクトにつきましては、地域・家庭支援  
事業や放課後学習支援事業を拡大し、「地域の子は地  
域で育てる」を目標に、地域の人材を活用した学習機  
会の提供や、親子体験活動を含めた学習活動支援を行  
い、地域の教育力向上に努めてまいります。家庭にお  
いては親子で読書をする機会を設け「読書でひかり輝  
く街」を目指してまいります。

生涯学習の推進につきましては、社会教育学級など  
を通して自発的な学習意欲の向上を促し、また、多様  
な学習意欲に応えるため、放送大学沖縄学習センター  
の再視聴施設の拡充を図り、幅広く高度教育の機会と  
情報提供に努めてまいります。

生涯スポーツの推進につきましては、昨年度は「全  
国夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が本市で開  
催され、市民2千人が参加し、元気な石垣島を全国に  
発信することができました。本年度も「市民皆スポー  
ツの実現」に向け、「いつでも、どこでも、いつまでも」  
を目標に生涯スポーツを推進するとともに、引き続き  
「ラジオ体操普及事業」を展開してまいります。また、  
「陸上王国八重山」から生涯現役を目標に、昨年度友好  
都市提携を締結した北上市で開催されるアジアマス  
ターズ陸上競技選手権大会への参加者拡大を目指し  
ます。さらに、本市の児童生徒の各種スポーツに対す  
る能力は非常に高く、トップアスリートの指導により  
その能力を開花させることを目指し、本年度は、元全  
日本選手によるバレーボール指導を定期的に実施し  
てまいります。

先人たちが築いてきた貴重な財産である市史の編  
集につきましては、昨年度までに刊行した『大浜の民  
話1、2』に続き、他地区の民話の編集作業を進めてま  
いらす。『旧大浜町史』の編集作業につきましても、  
来年度の刊行を目指し原稿執筆作業を行ってまいり

ます。  
人をもてなすふれあいの「いしがき」

### 6. 交流

本市は、「詩の邦・歌の島・踊りの里」と称されるほ  
ど芸能が盛んであり、芸能、文化、産業などを通して  
様々な交流を育んでまいりました。

昨年度は、岩手県との種もみ交流をきっかけに20年  
にわたる交流を続けてきた北上市と友好都市提携を  
締結しました。お互いの更なる発展と、希望と未来へ  
の「かけはし」となるべく、他の親善友好姉妹都市との  
交流も含めて、市民と共に、あらゆる分野において交  
流を深めてまいります。

1967年の国際観光年スローガンに「観光は平和  
へのパスポート」とあるように、国際交流拠点都市を  
目指す本市としては、世界中から多くの人々が本市を  
訪れ、人種や国籍を超えた交流が行われることによ  
り、相互理解や友情が生まれ、世界平和に貢献できる  
ものだと考えます。

今も、そして、これからも平和は何よりも尊いもの  
です。このことから、「石垣市非核平和都市宣言」及び  
「石垣市核廃絶平和都市宣言」を柱に、次世代を担う児  
童生徒を対象に、平和について考え、学ぶ機会を創出  
し、「八重山戦争マラリア犠牲者追悼式」並びに「石垣  
市全戦没者追悼式・平和祈念式」をしつかりと継続し、  
戦争の教訓を次世代へ語り継ぐことにより、市民の平  
和への願いを内外へ広く発信してまいります。

男女共同参画につきましては、男女を問わず一人ひ  
とりが輝く「いしがき」となるよう、第2次石垣市男女  
共同参画計画「いしがきプラン」に基づき、女性登用率  
の目標値30%以上の実現を目指すなど、本年度も引き  
続き推進してまいります。

市民との協働のまちづくりにつきましては、多様な  
市民が自ら情報発信源となり、それを市政運営に反映  
させることを目的とした「市長とランチミーティン  
グ」を本年度も引き続き実施し、同時に、「市民協働サ

ロン」も開催することにより、様々な「市民の声」に耳を傾けてまいります。

## 自立した行政運営の実現

### 7. 行財政改革

市民の満足度を高める行政サービスを提供し、新たな行政課題への確に対応するためには、組織機構の強化、市民と行政のパートナーシップの構築を図る必要があります。このようなことから、これまで進めてきた職員数の適正化、組織機構の改編など、行政改革の歩みを更に一歩前へ進め、自立した行政運営の実現を図るため、第6次行政改革大綱に基づき行財政改革を引き続き進めてまいります。同時に、持続可能な行政運営を確立するため、環境に関する法定外目的税の導入可能性など、新たな財源の確保について、関係団体と意見交換を行い、調査・研究をしてまいります。

また、民間活力を推進するため「民間にできることはできる限り民間に委ねる」ことを基本に、川平風致公園や米原キャンプ場の地域公民館への指定管理、浄水場管理の一部委託などを実施しました。本年度も行政と民間との適切な役割分担のもと、民間委託を積極的かつ計画的に取り組んでまいります。

行政評価につきましては、行政サービスの質の向上を基本理念に掲げて取り組んでいます。本年度においても、市民目線を反映させるため、外部委員による評価を実施し、行政評価制度の充実に努めてまいります。

職員の育成につきましては、時代の変化を的確に把握できる感性と創造性の豊かさを身に付けるため、職員の意識改革や資質向上を目指した各種研修を実施し、適材適所の人事配置を行います。また、職員の出退勤の適正かつ効率的な管理運用を図るため、出退勤管理システムを導入してまいります。

### 8. 予算編成と予算規模

本市の財政状況は、義務的経費や繰出金、補助費な

どの歳出の伸びに対し、地方交付税や市税等の歳入増加が伴っていない状況にあり、厳しさが増していると言えます。このことから、市民各位のご理解とご協力をいただきながら歳入に見合った歳出を図り、なお一層の財政健全化に努めてまいります。

本年度は、一般会計が総額230億1,951万5千円で、昨年度当初比0.5%の増となっております。主な内訳としましては、民生費87億9,908万円、衛生費19億9,583万1千円、農林水産業費18億301万7千円、商工費4億988万9千円、土木費23億8,406万2千円、教育費22億1,059万7千円となっております。

特別会計は総額165億1,348万3千円で昨年度当初比8.5%の増となっております。

### おまげ

これまで述べてきました本年度の施政方針に掲げた各事業、また年度を問わず継続されている事業の執行につきましては、すべて予算が伴うものであります。執行当局としましては限られた財源のなか、行財政改革に積極的に取り組みながら、効率的な行財政運営を心がけ、さらなる市民福祉の向上と生活の豊かさを感じられる石垣市の実現に向け、誠心誠意努力してまいります。市民の皆様からお預かりした大切な予算の適正配分と執行につきましては、市議会において議員各位の厳正なる審査のもと、議決いただきますよう大所高所からのご意見、ご高配を何卒よろしくお願いいたします。

あわせて、今後とも市民の声が届く、スピード感のある市民目線の行政運営で、『日本一幸せあふれるまち「石垣市」』を目指してまいりますので、市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年東京オリンピックが決定しました。1964年の東京オリンピック開催の時、我が国が戦後復興から高度経済成長へ向かうなか、すべての国民が心を一つにして大きな目標と夢に向かって力を合わせ、上

を向いて、前を向いて進みました。2020年の東京オリンピック開催の時に、国際交流拠点都市を目指す本市にとっても、本年度は大きな節目の年となります。市民の心を一つにして上を向いて、前を向いて進んでまいります。すべての石垣市民の皆様方のご多幸を祈念し、新年度を迎える所信と施政方針を結びさせていただきます。

## 平成26年春の全国交通安全運動

【期間】平成26年4月6日(日)～平成26年4月15日(火)まで

スローガン:「お互いに もてたらいね 思いやり」

運動の基本(子どもと高齢者の交通事故防止)

運動の重点は、

- 1、自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)
- 2、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3、飲酒運転根絶

地域重点(沖縄県独自の重点項目)

二輪車の交通事故防止(特に、若年者を含めたマナーアップの推進)

となっています。市民の皆様、安全運転を心がけ、明るく笑顔で春を迎えましょう。

石垣市交通安全推進協議会

# 市民防災訓練へ参加しましょう

4月24日の市民防災の日及び同週間において、大規模地震による津波来襲を想定した津波避難訓練を実施します。  
いざという時に迅速に避難できるように、訓練を通して地域の避難場所及び経路、海拔などを確認しましょう。

平成26年4月24日(木) 13時30分～

対象:各小中学校・幼稚園・保育所(園)、社会福祉施設等、津波避難ビル(周辺事業所)

平成26年4月27日(日) 10時～

対象:全市民(自主防災会、字会、自治公民館、自治会)

【問い合わせ先】総務部防災危機管理室 ☎0980-87-5533



## 平成26年度 就学援助のお知らせ(小学校新1年生、中学校新1年生対象)

石垣市では、学校給食費や学用品費など教育費の支払いにお困りの方に対してその費用の一部を援助しています。

◆援助を受けることができる方

- ①生活保護を平成25年4月1日以降に停止又は、廃止になった世帯
- ②市県民税の課税がなく、生活保護を受けている家庭に準ずる程度に生活が困難している世帯
- ③その他特殊事情を有する世帯(学校長の意見書が必要です)

◆援助の内容(年額) ※いずれも限度額です。内容が変更する場合があります。

- ①新入学用品費(新1年のみ)・・・小学校19,900円 中学校22,900円
- ②学用品費(全学年)・・・ 〃 11,100円 〃 21,700円
- ③校外活動費(全学年)・・・ 〃 1,510円 〃 2,180円
- ④学校給食費(全学年)・・・ 全額(給食センターへ支払)
- ⑤医療費(対象疾病あり)・・・ 限度額あり(医療機関へ支払)

※小学校2年生～6年、中学校2、3年生についての募集は終了しました。(※注1)

※毎年申請が必要となります。ご注意ください。

◆申請の手続きについて

在籍する学校から全児童生徒へ配布している「平成26年度就学援助申請書」へ必要事項を記入し、添付書類をそろえて学校事務室へ持参してください。

【学校への提出期限】平成26年4月18日(金) 厳守

詳しくは、学校から配布される「就学援助事業について」のお知らせや市教育委員会学務課HPにてご確認ください。

ご不明な点がありましたら、在籍する学校もしくは学務課までお問い合わせください。

※注1) 4月に石垣市に転入された方は、在学年でも申請できます。

【お問い合わせ】

石垣市教育委員会学務課

電話番号 0980-83-0355



### 4月1日(火)と4月2日(水)の2日間 市民課窓口時間を延長します

お引越しのピーク時期にあたり、次の内容で市民課窓口業務の受付時間を延長いたします。  
当日は、窓口が大変混雑するため、時間にはゆとりをお持ちになり、ご来庁頂きますようお願いいたします。

【場所】石垣市役所市民課窓口

【日時】平成26年4月1日(火)・4月2日(水) 午後6時まで

【内容】

- ①住所異動届(転入・転出・転居等)とそれに伴う国民健康保険、国民年金(加入・喪失等)、児童手当等に関する手続き
- ②住民票等の写し、印鑑登録・証明
- ③離島住民カードの発行申請

### 離島割引の還付金申請は4月7日(月)迄です。

平成25年4月1日から平成26年3月31日までに、離島割引による小児・障がい者割引運賃にて下記の航空路線をご利用された方は、「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」による還付金申請が行えます。

必要書類をご確認の上、4月7日(月)までに市民課窓口にて申請いただきますようお願いいたします。

【利用路線】石垣-那覇間(H25.7.9までのご搭乗分)、石垣-宮古島間、石垣-与那国島間

【対象者】搭乗時に○11歳以下の方○身体障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方

【申請に必要な書類】

・搭乗券または運賃種別が記載された搭乗証明書・離島住民カード・本人または保護者等の通帳・運転免許証など申請者の本人確認書類・印鑑(認印可)・身体障がい者手帳、療育手帳(障がい者の方のみ)

※期限を過ぎてからの申請は受付できませんのでご注意ください。

◆お問い合わせ 市民保健部 市民課 交付係 電話:0980-82-1260

## 外来生物の情報を求めます シロアゴガエル【特定外来種】



シロアゴガエル 写真提供:環境省

※八重山の外来生物について詳しく紹介した冊子を右記機関で設置しております。ご希望の方は、右記機関までお越し下さい。※数に限りがありますので予めご了承ください。環境省のホームページでもダウンロードできます。

東南アジア原産のアオガエル科のカエルで石垣島には外国から輸入された資材等に紛れて移入されたと考えられており、在来のカエルとの餌の競合やシロアゴガエルが持つ寄生虫が在来のカエルに感染することで数を減らす可能性があります。八重山諸島の生態系を崩す恐れがあります。環境省では、石垣島でトラップによる駆除を実施し、オオヒキガエル対策と同様に西表島などの周辺離島で監視活動を実施し定着の未然防止を図っています。

※特定外来生物は外来生物法で105種が指定されており、移動や販売、飼育等が規制されています。

外来生物を目撃した場合は、下記の機関へ情報提供をお願い致します。

・石垣自然保護官事務所 RO-ISHIGAKI@env.go.jp

TEL:0980-82-4768 FAX:0980-82-0279

・西表自然保護官事務所 RO-IRIOMOTE@env.go.jp

TEL:0980-84-7130 FAX:0980-85-5582

・石垣市環境課 seikatu@city.ishigaki.okinawa.jp

TEL:0980-82-1285 FAX:0980-83-9255



# 平成26年4月より 特定健診受診券と 国民健康保険被保険者証が1つになります！

平成26年度から特定健診受診券が、被保険者証と一体化した一人一枚の個人カードになります。  
オレンジの封筒(これまでの受診券)での郵送はありませんでご注意ください。

これまでは・・・ 2つの証書の提示が必要でしたが・・・

これからはカード1つで受診できます！

国民健康被保険者証  
(国民健康保険退職被保険者証)

特定健診受診券

## 便利になった点

- 特定健診受診券も一緒になっているので、**保険証の提示のみで特定健診が受けられます。**
- 高齢受給者証も一緒になっているので、70歳以上の方も**保険証1枚の提示で受診できます。**
- 医療機関の診察券や他のカードと一緒に、カードフォルダーや財布などに入れられます。
- 個人カードは、家族がそれぞれで持てるので旅行時や別々の医療機関を受診するときに便利です。

## 新しい被保険者証・受診券の見本

国民健康保険 被保険者証	交付年月日 平成26年04月01日 有効期限 平成27年03月31日
マル退、高齢受給者証等印字欄	
記号 垣国 番号 047007 コクホ タロウ	ジェネリック医薬品 を希望します。シール を張りましょう。
氏名 国保 太郎 性別 男 生年月日 昭和50年04月01日 資格取得年月 平成26年04月01日	
(折り曲げ線)	
世帯主氏名 国保 一郎 住所 沖縄県石垣市美崎町14番地	
保険者番号 4700070 保険者名 石垣市	
自己負担額 : 基本健診 無料	
受診券整理番号 : 14100000909 受診期間 : 平成26年04月01日から 平成27年03月31日まで	
特定健診を受けた日 平成 年 月 日	

### 高齢受給者証

70～74歳の方の病院受診の際の負担割合の記載があります。  
(対象でない方は空白となります)

### 特定健診受診券

健診対象者は、整理番号や受診期間が記載されています。  
※対象でない方は「健康標語」が印字されています

特定健診を受診したら病院で受診日を記入してもらいます。受診券は4月1日からご利用ください。

### 注意！

被保険者証と受診券は切り離さないで下さい。利用できなくなります。

これからは、被保険者証だけで特定健診を受けることができます。  
**40歳から74歳のかたは、生活習慣病予防の特定健診を年1回は、ご自身の健康の為に受けましょう！！**



お問い合わせ先

特定健診に関すること  
国民健康保険者証に関すること

石垣市健康福祉センター  
石垣市健康保険課

0980-88-0089(直通)  
0980-82-8126(直通)

◆平成26年度貸与奨学生の募集について  
 (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

沖縄県内に住所を有する者の子弟で、国内の大学、大学院、高等専門学校若しくは専修学校(専門課程)に在学している者又は平成26年4月入学予定の者  
 沖縄県出身海外移住者の子弟で主たる住所を海外に有し、県内の大学若しくは大学院に在学している者又は平成26年4月入学予定の者  
 学業、人物ともに優秀であるが経済的理由により修学に困難があると認められる者  
 その他詳細は財団ホームページでご確認ください。

【募集期間】平成26年3月14日(金)～平成26年4月14日(月)  
 【問い合わせ】(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団奨学課  
 ☎098-942-6213  
 http://www.oihf.or.jp/

◆社会教育学級 委託団体募集について  
 教育委員会 いきいき学び課

自分たちでテーマを設定し、そのテーマに沿った講義・実習・見学等の講座を実施してみませんか。より良い社会生活の為にどうしたら良いのか。青年会や婦人会、老人クラブ等の活動を充実させるためには、どうしたら良いのか。スポーツや趣味の活動を通して地域とどのように関わっていくのか。石垣教育委員会では社会教育学級の開設・運営を希望する団体を募集しています。

【募集学級】高齢者学級・婦人学級・成人学級・青年学級(各1学級)  
 【応募条件】

- ①石垣市民で構成し、活動している社会教育団体や文化・サークル団体であること。
- ②常時20人以上の学習参加者が見込まれること。
- ③学級開設期間内(開級日)平成27年1月末日までに講座を20時間以上開催すること。
- ④学級運営は、石垣市教育委員会指導・助言のもとに、応募団体が自主的に行うこと。
- ⑤学級運営に係る経費には委託料を充てること(委託料を超える分の経費は団体負担となります)。

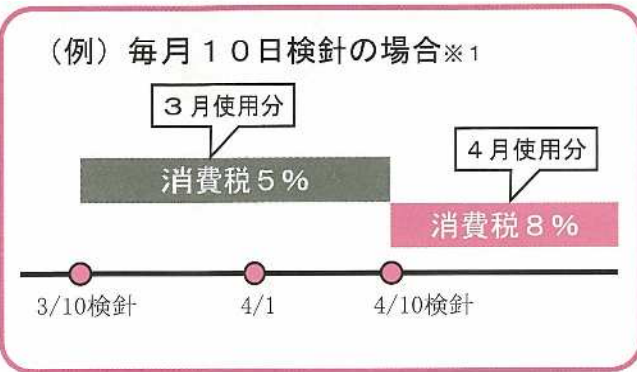
◎学級で得られた成果を石垣市生涯学習フェスティバルで発表すること(展示・舞台発表など)平成27年2月開催予定)

【申込方法】  
 「学級応募申請書」に必要事項を記入の上、お申込みください。(いきいき学び課で配布) 応募団体の中から石垣市教育委員会が審査し、委託団体を決定します。  
 【申込締切】6月1日(金)  
 【問い合わせ】いきいき学び課  
 ☎0980-803-0373

◆石垣市水道部より水道料金の改定についてのお知らせ

平成26年4月1日に消費税が8%に引き上げられることに伴い、同日以降使用分の水道料金が次の通り改定されます。  
 平成26年3月31日以前から継続して水道を使用している場合は、経過措置として平成26年4月時の一回目の検針分(3月使用分)に限り、従来の消費税5%が加算された水道料金となります。  
 平成26年4月使用分から消費税8%が加算された水道料金となります。

【問合せ先】☎0980-803-4043



※1. 継続利用の場合、毎月1日～10日の間に前月分の検針が行われます。平成26年4月1日以降新規契約の場合は契約した日から消費税8%が加算されます。

## 介護サービス費用変更のお知らせ

—福祉部介護長寿課—

平成26年4月から消費税引き上げ(5%→8%)に伴い、平均して介護報酬プラス0.63%の改定が行われます。

### 1. 介護報酬改定の例

#### ●デイサービスの場合

・要介護2の利用者  
 (通常規模事業所で7～9時間未満の場合)

	利用料
現行	811円/回
改定後	817円/回
上乗せ分	+6円/回

### 2. 利用限度額の引き上げ

要介護状態区分	現行	改定後	上乗せ分
要支援1	49,700円	50,030円	330円
要支援2	104,000円	104,730円	730円
要介護1	165,800円	166,920円	1,120円
要介護2	194,800円	196,160円	1,360円
要介護3	267,500円	269,310円	1,810円
要介護4	306,000円	308,060円	2,060円
要介護5	358,300円	360,650円	2,350円

問合わせ 福祉部介護長寿課 0980-82-7158

## まちの話題



+プラス

## 新石垣空港に新たなシンボル

ステンドグラス「いのち輝く八重山」を設置!

開港から1周年を迎えた新石垣空港・南ぬ島石垣空港内に新しいシンボルが誕生しました。人間国宝で石垣市名誉市民の玉那覇有公先生デザインによるステンドグラス「いのち輝く八重山(やいま)」が旅客ターミナルチェックインロビー西側(2F)に設置されました。この作品は石垣市出身で重要無形文化財「紅型」保持者(人間国宝)である玉那覇有公先生による原画のステンドグラスで、「強い日差しを受けて、海や山、全てのいのちが輝く八重山は、この地を訪れる人たちも全て輝くことの出来る島」という想いが込められています。



# 教育委員会だより

## 市立幼稚園に入園手続きをされた保護者の皆様へ

入園手続きをされた保護者の皆様、幼稚園保育料の口座振替手続きはお済みでしょうか。石垣市では、幼稚園保育料のお支払いは、口座振替が原則となっています。まだ口座振替手続きがお済みでない方は、早めの手続きをお願いします。

口座振替手続きはお近くの銀行、または農協、漁協、ろうきんで出来ます。

また、幼稚園保育料の口座振替は毎月10日となっており、10日が土・日、祝日に当たる場合は翌営業日となっていますので、確実に口座振替が行えるように残高の確認を今一度お願いします。

【お問い合わせ】石垣市教育委員会学務課学務係 ☎0980-83-0355



## 平成25年度 学校訪問

教育委員による学校訪問は、11月14日の大浜中学校に始まり、2月12日の宮良小学校まで、7校で行われました。各学校では、校内視察と新しく導入された電子黒板等を利用した授業視察を行いました。

意見交換会では、校長から学校の学習取り組み状況の報告や、施設・備品に関する要望等もあり、充実したものとなりました。

写真は、宮良小学校です。地域との関わりが深く、住民の協力のもと学校運営が行われています。校舎内外の清掃が行き届き、緑豊かな校庭、咲く花々に歴史の重みを感じられる学校です。



## 奨学生募集

石垣市教育委員会では、平成26年度奨学生を募集します。

### 石垣市奨学生

石垣市に住所を有する者の子弟であって、大学（外国の大学を含む）及び専門学校等に在学又は平成26年度中に入学を予定（合格通知の有無は問わない）し、修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者。

### 桃原用昇奨学生

次の（１）～（３）の要件をすべて満たす者。

- （１）石垣市に住所を有する者の子弟または石垣市にある高等学校を卒業した者
- （２）外国の大学又は国内の大学に在学もしくは平成26年度中に入学を予定（合格通知の有無は問わない）し、修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者
- （３）他の奨学金の交付を受けていない者



どちらの奨学金も、募集期間・貸付額は下記のとおりです。

募集期間：平成26年4月10日～平成26年4月25日

貸付額：50,000円/月 ※無利子

詳しくは下記までお問い合わせください。

石垣市教育委員会 総務課 企画調整係  
☎0980-87-5077

## 市立図書館からのお知らせ

### 石垣市に転入された皆様へ

ご利用カードを作りませんか？

ご住所を確認できるものをお持ちいただければ、その場で発行いたします。印鑑不要、手続き料も掛かりませんので、お気軽に市立図書館カウンターまでお申し出ください。

ご住所の確認に必要なもの（現住所に異動変更済みのもの）

・運転免許証・健康保険手帳・住民票 など

### カード1枚につき、1度に…

図書：10冊まで

雑誌：5冊まで

紙芝居：5冊まで

CD：2点まで

貸出できます。



【お問い合わせ】石垣市立図書館

☎0980-83-3862



### 『飴玉1個20kcal～塵も積もれば山となる～』

石垣市健康福祉センター 栄養士 知念紅



平成25年度の特定健診が3月末までとなりました。皆さん、今年度の特定健診は受診されましたでしょうか？

さて、『塵も積もれば山となる』を見出しに、先月特定健診を個別で受診された方のお話をしたいと思います。

この方は男性50代で5年ぶりに特定健診を受診されました。5年前に比べ、体重が5キロ増えていました。単純に1年1キロペースで増えたとすると、毎日どのくらいのカロリーオーバーをしていたのでしょうか。1キロ=7200kcal、7200kcal÷365日=約20kcalです。では、1日20kcalオーバーとはどれくらいだと思いますか？白米を1～2口くらい、お菓子も1～2口くらい食べれば20kcalです。

1時間も活動せずにごろごろと横になっていれば活動量は減り、軽く20kcalオーバーします。

1時間ごろごろしながら、お菓子を食べていたら楽勝で20kcal以上余剰に溜め込んでしまいます。

たったそれだけなのです。たったそれだけを毎日やっていると1年で1キロ、5年で5キロ太るという計算になります。自分の生活習慣をかえりみて・・・どうでしょうか？脂肪の貯金は簡単です。

ほんのちょっとした気の緩み、気がつかないくらいのパランスの崩れが5年で5キロ増やしてしまう。

『ほんのちょっとした、簡単に太るのか…』絶望することはありません。これ、逆も然り。

毎日20kcalをどうにかすれば5年で5キロ痩せられます。20kcalと遠慮せず、1日100kcal食事や運動で節制することは簡単にできます。これを毎日継続し習慣化することが大切なのです。

この50代の男性は、ちょうど5年前に腰を患い、趣味だった運動を止めたが、食事は運動していた時と変わらない量を摂取されていたとの事。『大変だね。ちょっとずつだと気づかない。今回健診受けて、結果の説明も聞いて良かった。』と、自分のカラダの変化に気づき、『軽い運動の再開と食事量の適量化を目標に体重の管理を行い、来年度の健診に向けて頑張ってみる』と、目標も立てて頂きました。

5年間も溜め込んで後悔しないよう、1年に1回特定健診を受診し、自分のカラダが1年間でどの様に変化したかを確認する【習慣】を新年度から始めてみてはいかがでしょうか。その確認作業に私たち保健師・栄養士がサポートいたします。

平成26年度の集団健診は6月24日から始まります。個別健診は1年を通して受診できますのでご自身の都合に合わせる事ができ便利です。

\*平成26年4月より、特定健診の受診券と国民健康保険被保険者証が1つになります\*

保険証の提示のみで特定健診が無料で受診でき、便利になりました！

栄養士 根神さんの

# 健康★レシピ

## グリーンサラダの豆腐ドレッシング

### 【作り方】

- ①豆腐はタオルペーパーに包んで上に皿をのせて重石にして水気をきる。
- ②オリーブ油、酢、砂糖をトロミがつくまで混ぜ①をほぐしながら加えて混ぜる。
- ③ロースハムは湯通しして粗みじん切りにする。
- ④レタスはちぎり、キュウリは4～5cmの長さに拍子切り、小松菜は茹でて2cmの長さに切る。②で和えて器に盛り③を散らす。



### 材料/分量 (5人分)

豆腐	150g
オリーブ油	小さじ2
酢	大さじ1
砂糖	小さじ1
コショウ	少々
ロースハム	50g
レタス	80g
きゅうり	160g
小松菜	160g

### 【一人分の栄養価】

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	塩分
81kcal	5.3g	5.3g	102mg	1.6mg	0.4g

### 一口メモ【小松菜】

- ・小松菜に含まれるビタミンAやカルシウムはほうれん草より多く含まれています。
- ・アクの少ない小松菜は生で食べられるので壊れやすいビタミンCもほうれん草より多く摂ることができます。
- ・粘膜や皮膚を強化するA、発がん物質の作用を弱めるC、細胞の老化を抑えるE老化を防ぐ三大ビタミンを多く含むのが小松菜の特徴です。



健康福祉センター 栄養士 根神文子

# 2014 Calendar

## 4月27日(日)は市民防災訓練の日です!

4月24日の市民防災の日及び同週間において、大規模地震による津波来襲を想定した津波避難訓練を実施します。  
市民一人ひとりが日頃から防災意識を持つことで、災害発生時の被害を最小限にとどめることが可能になります!ぜひ多くの市民の参加をお願いいたします。  
(※防災訓練詳細は11Pに掲載)

日	月	火	水	木	金	土
		1 ・多重債務相談 (市役所)	2 ・法律・行政相談 (市役所) ・両親学級① (健康福祉センター)	3 ・少年問題相談 (市役所)	4	5
日	月	火	水	木	金	土
6	7 ・BCG集団予防 接種 (健康福祉センター)	8 ・多重債務相談 (市役所) ・離乳食実習 (健康福祉センター)	9 ・法律相談 (市役所) ・両親学級② (健康福祉センター)	10 ・少年問題・人権 相談(市役所) ・2歳2か月児 歯科指導 (健康福祉センター)	11	12
日	月	火	水	木	金	土
13	14	15 ・多重債務相談 (市役所) ・妊産婦・乳幼児 保健相談 (健康福祉センター)	16 ・法律相談 (市役所) ・両親学級③ (健康福祉センター)	17 ・少年問題相談 (市役所) ・3-4か月児健診 ・1歳6か月児健診 (健康福祉センター)	18	19
日	月	火	水	木	金	土
20 ・家庭の日	21	22 ・多重債務相談 (市役所)	23 ・法律相談 (市役所) ・両親学級④ (健康福祉センター)	24 ・少年問題相談 (市役所) ・1歳6か月児健診 ・3歳児健診 (健康福祉センター)	25	26 ・9-10か月児健診 ・3-4か月児健診 (健康福祉センター)
日	月	火	水	木	金	土
27 ・市民防災 訓練	28	29 ・昭和の日	30 ・法律相談 (市役所)			

※上記日程は、予定です。詳しくは関係課までお問い合わせください。

### 健康相談日程

- ・4月 2日・16日 伊原間保健指導所
- ・4月 2日 新栄町自治公民館
- ・4月 3日 登野城漁港
- ・4月11日・25日 川平保健指導所
- ・4月23日 公設市場

【問い合わせ】健康福祉センター 電話：0980-88-0088

### 保険相談日程のお知らせ

保険の疑問や不安がある方は相談を。現在加入している保険の内容説明が受けられ、一人では難しい保険の見直しも簡単にできます。家族構成や職業などが変わった時に見直しをすると家計の節約になることもあります。これから保険を考えた方の相談も可能。相談は無料。まずは電話で予約を。

・4月 3日～10日 ・4月15日～24日 ・4月26日～29日

【問い合わせ・予約】

保険クリニック  
場所：石垣市真栄里273-1(アルタウン内)  
電話：0120-920-559 0980-84-2335

### 土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について

地方税法第416条第1項の規定により、平成26年度固定資産税の土地価格等縦覧帳簿及び家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について、下記のとおり関係者に供します。

【縦覧期間】平成26年4月1日～4月30日まで(土・日・祝日を除く)

午前8時30分～午後5時15分まで

【縦覧場所】石垣市役所 税務課(窓口11番)

【縦覧できる方】石垣市内に土地・家屋を有する納税者(納税管理人)またはその代理人。

【持参するもの】印鑑及び本人等を確認できる書類。代理人の場合は納税者等本人からの委任状も必要です。

【問合せ先】石垣市役所税務課  
資産税係(0980-87-9043)